

令和6年6月19日（水曜日）
予算決算委員会経済観光分科会
第4委員会室
出席委員

山口 悟、白井義一、前川藤枝、駒田かすみ、
井川一善、井上太良、下林崇史、嶋谷秀樹、
西村しのぶ

【経済観光委員会（農林水産環境局、観光経済局）の
審査】

開会 15時45分
観光経済局 15時45分
送付議案説明

・議案第60号 令和6年度姫路市一般会計補正予算
（第2回）

質疑 15時48分
（質問）

特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業について、これまでと同様に姫路城や書写山での体験が中心となったものである。

例えば、日本料理店でのハモの骨切りやそば打ち体験、季節は限定されるが、稲刈りや酒蔵での日本酒造りの体験など海外では体験できないような企画は考えていないのか。

（答弁）

海外の富裕層に売り込んでいくためには、姫路城や書写山に関係した体験コンテンツが必要であると考えており、そのようなものがなければ、観光庁の委託事業としても採択されにくい。

このたびは、二次募集で採択されたものであるが、観光庁からは次年度以降も継続的に実施できる内容やストーリー性を持たせたものが求められており、本市としては需要のある日本刀講座などを組み込んだ企画を検討していきたいと考えている。

（質問）

限られた地域だけでなく、市内の様々な地域に訴求するような企画や市民が懂れるような企画が必要と思うかどうか。

（答弁）

当該事業は観光庁の委託事業として実施するもの

であるが、それ以外のコンベンション業務では、様々なツアーを企画しているので、今後検討していきたい。（質問）

これまでの取組において、海外の富裕層に対応できる宿泊施設の不足など、本市の抱える課題は明らかになってきている。

姫路城での宿泊が理想的であるが、それが実現しなくても、旧藤森家住宅や姫路文学館の望景亭を活用するなど、特別感を持たせた取組が求められていると思うかどうか。

（答弁）

海外の富裕層を対象とした前回のツアーは、短い募集期間もあり申込者がいなかったが、その取組過程で実施したモニターツアーにおいて、富裕層とつながるパイプができており、それを活用しながら、ツアー催行につながる魅力的な企画をリサーチしていきたい。（要望）

秋の時期に実施するツアーであれば、夜の好古園を貸し切って、ライトアップされた紅葉を見ながら、おいしい食事を提供するだけでも感動してもらえるのではないと思う。検討してもらいたい。

（要望）

前回の委員会で報告のあった海外の富裕層向けのPR動画については、臨場感を持たせた特別な映像としてもらいたい。

観光経済局終了 15時57分

【経済観光委員会の意見取りまとめ】

意見取りまとめ 16時03分

・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了 16時04分

閉会 16時04分